

マーレテストシステムズが診断サービスツール **ServiceLogiq™** のアップデートを実施したと発表

新しいサービスツールスクリーン作成と管理をコード変更無しで！

【ノバイ市（米ミシガン州）6月6日】マーレテストシステムズはマーレパワートレイン社の1事業部門であり、生産、及びディーラー向け診断エンジニアリングサービスのメジャーなサプライヤ。そのマーレテストシステムズが自社の **ServiceLogiq™** ラインタイムソフトウェア用の新しいスクリーンコンフィギュレーションユーティリティを提供を開始したと発表。

このユーティリティにより、コンポーネントベースの **ServiceLogiq™** ラインタイムのスクリーンは、コード変更無しにシームレスに開発が出来、サービスツールスクリーンの標準化をグローバルなオーサリング環境上で容易に実現出来ます。

マーレテストシステムズのアプリケーション開発者であるマイク・デュー氏は「弊社の **ServiceLogiq™** ランタイムソフトウェアは、弊社の過去 27 年に及ぶパワートレインと診断開発の経験を活かして開発されました。」と語った。「このユーティリティを開発した事により、お客様のスクリーンオーサリングに必要な時間が大きく軽減されます。また、典型的な開発上の問題であるスクリーンコンフィギュレーションをテストのオーサリングから切り離す問題も解決しました。」

マーレパワートレイン LLC 代表取締役のチャック・ハイン氏は「この新しい機能は **ServiceLogiq™** ライセンスをお持ちの客様に追加ライセンス費無しでご提供させていただきます。」と語る。「我々のお客様はこの機能により生産性向上による恩恵を大きく受ける事でしょう。」

ServiceLogiq™ はマーレテストシステムズの車両診断ソフトウェアであり、スタンドアロンで起動する事が可能であり、またセントラルウェブサーバーからの起動も可能なため、ソフトウェアやデータベースアップデートの物理的な配布を必要としないオプションも可能なため、自動車メーカーの展開方法に柔軟性を持たせております。業界でもトップクラスの非常に高速な実行スピード（10秒以下のスタートアップ時間と、1秒以内のスクリーンからスクリーンへの移行時間）を実現。スキャナー、スコープやその他車両測定デバイスを容易にサポートし、メーカーのその他診断関連データ、例えばテクニカルサービス情報・配線図・レポート、との融合も可能です。

ServiceLogiq™ を使用したアプリケーションは現在某ドイツメーカー様と北米メーカー様にてトライアルされており、良好な結果を得ています。

マーレテストシステムズでは、全車両ライフサイクルにおける、車両とパワートレイン電子制御関連の検査に関するツールとノウハウを提供しています。マーレは各自動車メーカー向けの全プロダクトライフサイクルにおける新しい検査ソリューションを開発するグローバルなサプライヤーです。テストシステムズではますます複雑化する生産工場での検査要件に対応しながらメーカー様に常に最高のクラスの生産品質を達成（2008年 J.D.Powers のメーカー電気系補償、初期品質調査による）するお手伝いをさせて頂いております。

マーレパワートレイン LLC は、世界的でトップ30社の自動車部品・システム・サプライヤーにランクされ、世界的な内燃エンジンと周辺機器のマーケットリーダーであるマーレグループの一部です。マーレは世界で110の製造工場と8カ所の研究開発（R&D）センターを保有し、約4万5000人を雇用しています。2008年の売上高は約50億ユーロ（約7.3億米ドル）でした。

世界中では約3,000名の開発エンジニアとテクニシャンがノースハンプトン、ノースサンプトン、デトロイト近郊のファーマングトンヒルズとノバイ、川越、桶川、上海とサンパウロにある8ヶ所の開発リサーチセンターで従事しております。

問い合わせ先：

マーレテストシステムズ

佐井 トム

アプリケーションマネージャー

〒430-0941

静岡県浜松市中区山下町 2-1-3F

電話：+81(0)53/489-5100

+81(0)53/489-5101tom.sai@jp.mahle.com